

高い商品開発力で地域経済活性化に貢献 ASEANへ積極的に海外展開

明治4年創業。ルーツは久留米藩の瓦葺棟梁だった創業者が瓦製造、販売を始めたことに遡る。その後瓦の需要減で建材店に転身。徐々に住宅資材の取扱が増え、昭和58年の排水ユニット「小川くん」の開発を機に住宅の水回りのグレーチング（排水溝の蓋）事業に特化し現在に至る。医療福祉施設向けグレーチング市場シェアでは28%、住宅在来工法浴室市場シェアでは約90%を占め、いずれも国内No.1を誇るニッチトップ企業へ成長。

●所在地 福岡県久留米市中央町28番地7

●設立 1966年

●電話/FAX 0942-89-5235/0942-89-5306

●資本金 2,000万円

●URL <http://shimabun.jp/>

●従業員数 33人

●代表者 代表取締役 島 信英



木製グレーチングを始めとする高付加価値商品開発で需要獲得

グレーチングを住宅や施設の排水設備に導入したパイオニア企業として、浴室用グレーチングや排水ユニット関連商品を500種類以上企画開発し、研究機関や他企業とのコラボレーションによる商品開発も積極的に推進。木質感と防カビ機能を両立させた木製グレーチングは好評を博し「国際建築展示会ARCHIDEX 2017」で受賞。九州産木材・地元伝統工芸を活かした商品、新素材の屋外用グレーチング、金箔装飾のグレーチング等でも新たな需要を獲得。災害時でも安全な「ステンレス製鏡」が国内シェア90%を誇る等、グレーチングを基軸にニッチ市場に特化した商品開発に注力。



木製グレーチング

国内市場縮小を見越したASEAN等への積極的な海外展開

グレーチングの国内市場縮小に向け、新規市場の開拓に海外展開を決意。中小機構のF/S調査やJETRO新輸出大国コンソーシアムの専門家派遣制度の活用を契機に、シンガポール、マレーシア、タイ、台湾に代理店を構う。マレーシア、シンガポールの屋外施設プロジェクトへの参画実績を持ち、高品質のグレーチングを武器に高級リゾートホテルやコンドミニアム等、海外のラグジュアリー市場開拓を推進中。直近はフィリピンにおける代理店候補の選定、ASEANでの現地法人・現地工場の設立等を模索している。



海外の高級リゾートホテルにも納入

外国人材登用、多能工化で生産性向上と働き方改革を実践

海外展開の円滑化のために採用したバングラデシュ出身の学生が、実務で活躍し海外事業を牽引する存在へと成長している。設計担当が価格票の入力を行う、総務担当が納品書を発行する、製造の前後工程の担当を変えるといった多能工化をOJTのなかで推進。生産性の向上を図りつつ、業務の属人化をなくし、休みやすく働きやすい職場づくりを実現。また、生産、組立の自動化等にも積極的に取り組み、納期の短縮化と働き方改革を実践している。



仕事風景